

審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和7年度第3回津市男女共同参画審議会
2 開催日時	令和7年9月24日(水) 午後1時30分から午後3時30分まで
3 開催場所	津市役所本庁舎 4階庁議室
4 出席した者の氏名 (敬称略)	(津市男女共同参画審議会委員) 東福寺一郎会長、稲垣裕子、小田博子、川端誠、佐藤ゆかり、西川昇吾 (事務局) 男女共同参画室長 谷本聖美 男女共同参画担当副主幹 小川明子 主査 堀 太紀
5 内容	1 第4次津市男女共同参画基本計画に基づく令和6年度施策進捗状況に関する意見集約について 2 令和8年度実施予定の市民意識調査・事業所調査に関する調査票について 3 その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	市民部男女共同参画室 電話番号 059-229-3103 E-mail 229-3103@city.tsu.lg.jp

議事の内容 別紙のとおり

<事務局>

- ・開会宣言
- ・会議の成立を報告
- ・出席者6名、欠席者4名、委員の過半数の出席のため、津市男女共同参画推進条例第18条第2項の規定により成立
- ・津市男女共同参画推進条例第18条第1項の規定により、東福寺会長が議長となることを説明し、議事進行を東福寺会長に依頼

議長

9月も下旬になり、ようやく猛暑も収まってきたかと思います。今日は御多用の中、御参集いただきありがとうございます。事務局からの話のとおり、本日は10名中6名の参加ということで、開催できるぎりぎりの人数です。ただ本日は、重要な内容となっておりますので、皆様の貴重な御意見を頂戴して、スムーズに進めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

議長

それでは、事項書に基づき、会議を進めます。

1の「第4次津市男女共同参画基本計画に基づく令和6年度施策進捗状況に関する意見集約について」でございます。

資料1をご覧ください。

前回(8月27日)の審議会で委員の皆様から頂戴しました御意見等を踏まえ、1ページから9ページは改めて事務局で整理した資料です。一番右の列にあります「意見まとめ案」が変更後です。太字及び下線になっていますが、念のため、左側の番号欄に丸がついているものは内容を変更したもの、番号欄に四角がついているものは言葉の微修正のみになっています。これを基に審議していきたいと思っております。

なお、前回未審議の10ページ、11ページは前回のままです。

まず、前回同様、一番左の列にあります、基本目標I～VIの分類ではなく、1ページずつ審議していきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

また、順としては、未審議の10ページ、11ページ、続きまして「はじめに(案)」を審議し、その後、1～9ページの修正案の再審議したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(承認)

議長

では、そのようにさせていただきます。まずは、10ページをご覧ください。10ページについてお気づきの点がございましたらどうぞ。

議長

よろしいでしょうか。

ないようですので、次に11ページについて、何かございましたらお願いします。

議長

特にないようですので、このまま進めさせていただきます。

議長

次に、「はじめに(案)」について、お気づきの点がございましたらどうぞ。

こちらは、前回の会議でジェンダー統計を冒頭に記載をというお話を頂いたので記載しました。また、LGBTQについては、LGBTQ+などの表現もございます。認知度としては、LGBTQかと思いましたが、いかがでしょうか。こちらは、市民意識調査にも関わります。よろしく願いします。

佐藤委員

資料1の11ページの65番の意見では、「世界全体を見ると」とあり、ダイバーシティに否定的なのは他国のことと表現されています。しかし、はじめに(案)では「国内外」という表現になっています。そのため、はじめに

(案)に合わせて、65番でも「国内外で」という表現にした方が良いと思います。

また、それに伴い、「国があるようだが」も「動きがあるようだが」などに変更するのはいかがでしょうか。

議長 はじめに(案)に基づき、65番の表現の訂正をという御意見です。よろしいでしょうか。ではそのように訂正いたします。ありがとうございます。

議長 ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

議長 では、新たなところは以上とし、前回御審議いただいた1ページに戻り、再審議に入ります。

今後は、ページごとに、前回からの変更点について、事務局から簡単に説明した後に審議に入ります。

その際、変更点はもちろんですが、前回審議した以外の部分で、改めて御意見がある場合も、各ページについてお聞きした際に申し出ていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

では、まず1ページ目の変更点について、事務局から説明してください。

<事務局> 3番は、学校と保護者の共通認識について別々に記載し、加えて、参加した保護者だけではなく不参加の保護者のための記載も必要との御意見を頂戴し、変更しました。

4番は微修正のみです。

議長 御意見等よろしいでしょうか。

では、2ページ目について、事務局から説明をお願いします。

<事務局> 11番は微修正のみです。

12番はジェンダー統計については、はじめに(案)に記入いただくという御意見があり、会長に作成いただきました。しかし、念のため、当初御意見いただいたこの12番において、例を入れました。不要であれば削除することも含め、再協議いただきたいと思います。

議長 いかがでしょうか。特に12番のジェンダー統計については、はじめに(案)にもありますが。

その他の点についても、お気づきの点がありましたらお願いいたします。

12番については、前回、佐藤委員の御意見からでした。いかがですか。

佐藤委員 はい。これで結構です。ありがとうございます。

稲垣委員 確認ですが、この12番は、まず男性を対象とした公民館講座があります。そこに、男性か女性かを聞くことがあるから、聞くのであれば性別に関する配慮が必要で、配慮した上で、男性・女性のどちらかを聞いて統計を取ってくださいという意味ですよね。

そうであれば、「男女の統計を取る場合においては」という前置きがないと、意見だけでは意味が分からなくなる可能性があるかもしれません。

議長 ここは、前置きが必要かもしれませんね。ところで、質問・回答は報告書に記載されるのでしたか。

<事務局> 記載されません。

議長 ないのであれば、かなり唐突ですね。

稲垣委員 「男性の割合を取る上で」などを加えるのはいかがですか。

議長 そうですね。はじめに（案）に全体の意見として入れたので、佐藤委員の了承を得られれば、削除も検討したいと思いますが、いかがでしょうか。

佐藤委員 担当課が、「はじめに」をきちんと見るかどうかですよ。

議長 では、担当課には、個別に事務局から伝えていただくということでいかがでしょうか。

質問・回答が、報告書に掲載されるのであればつながりますが、ないのであれば唐突過ぎるので、削除にしたいと思います。担当課には、事務局からしっかりと趣旨を伝えていただきたいと思います。

稲垣委員 1 2 番だけの話だけではなく、全体として伝えたい内容なので。

議長 よろしいでしょうか。

佐藤委員 はい。

議長 それ以外ではいかがでしょうか。

では、ないようでしたら、3 ページ目に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

<事務局> 商業振興労政課の1 3 番、1 4 番は微修正のみです。

1 7 番の商業振興労政課は、スキルアップがその本人のみの労働過重とならず、企業にとっても本人にとっても良いものになるようにという御意見を頂戴し、変更しました。

議長 1 7 番は、前回の御意見で、スキルアップが労働過重につながるのではないかと御意見もありまして、両方にとって良いものという内容になりました。佐藤委員よろしいでしょうか。

佐藤委員 はい。

議長 ほかにないようでしたら、4 ページ目に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

<事務局> 1 7 番の生涯学習課は、名称変更と最終目的が並列になってしまっているとの御意見を頂戴し、変更しました。

1 9 番については、業務の効率化、応援が大切と配置転換は別のため、分かりやすく記載するよう御意見を頂戴し、変更しました。

2 0 番については、ハラスメントについて、前山委員の御意見を頂戴し、変更しました。

2 2 番については、規模に合わせた情報提供をという御意見を頂戴し、変更しました。

議長 ありがとうございます。4 か所の変更です。いかがでしょうか。

西川委員 全体として、文言の統一をお願いします。2ページ目12番、4ページ目17番、22番などの「取組」について。

議長 取組は送り仮名をつける方でしたね。修正してください。

議長 では、次に5ページに移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

<事務局> 22番、25番は微修正です。
23番はクリティカル・マスとしての30%の記載をとの御意見を頂戴し、変更しました。

議長 数値を入れたということですね。いかがでしょうか。

西川委員 クリティカル・マスの日本語表記はあるのでしょうか。これは一般的な用語なのですが、恐らく多くの人が見たときに、何を言っているのか伝わらないと思います。クリティカル・マスの後に、括弧を入れて日本語表記があれば、親切だと思います。

議長 日本語表記はありますか。

<事務局> 調べます。確認でき次第、表記したいと思います。

稲垣委員 今、インターネットで調べていますが、短い言葉で良いのがないですね。

議長 長いようなら注釈をつける方が親切ですかね。

<事務局> ありがとうございます。

議長 5ページについて、ほかにございますか。
なければ、6ページに移ります。事務局から説明してください。

<事務局> 27番、32番は微修正です。
29番は、広く深くという御意見を頂戴し、変更しました。

議長 はい。皆様いかがでしょうか。

議長 29番は、一文が長すぎますかね。

<事務局> どこかで切ります。

佐藤委員 一方通行の前で切った方が良いですね。

議長 こちらは再提案してください。ほかはよろしいでしょうか。
それでは、続きまして7ページへ移ります。事務局から説明をお願いします。

<事務局> 34番は微修正です。
37番人事課は、前回御意見の中にはございませんが、事務局案として、「職員にとっても、周囲の職員にとっても」を、ほかの文章に合わせ文言を修正しましたので御確認ください。

議長 はい。37番は事務局で修正したということですね。よろしいでしょうか。では、続きまして8ページです。事務局から説明をお願いします。

<事務局> 40番は、女性の帯状疱疹の罹患率について確認をと御意見をいただきました。調べた結果、2008年頃の全国的データでは、確かに女性が多いと表記されていましたが、2019年～2024年でのデータでは「やや女性が多い」と記載されていました。「やや」という表現であるため、今回は、女性に特化した内容にはしないままとしました。

42番は微修正です。

47番は、女性に対する暴力などの情報について、前山委員から御意見を頂戴し、変更しました。

議長 はい。ありがとうございます。帯状疱疹について調べていただいた結果、特に女性が多いとは言い切れないということですかね。

<事務局> すべて「やや女性が多い」という表現で、また、「特化するほどでもなく」という記載もあったので、記載は断念しました。

議長 よろしいでしょうか。では、9ページにまいりたいと思います。事務局から説明をお願いします。

<事務局> 49番、50番、52番は微修正です。
51番の男女共同参画室は、表現について御意見を頂戴し、変更しました。
53番は相談体制の把握について、御意見を頂戴し、変更しました。

議長 よろしいでしょうか。では、以上で、まとめ案に係る審議は終了とします。今回、審議した内容について、事務局の方で改めて変更をお願いします。それを基に報告書の形式にしたものを、次回審議会において最終審議及び決定したいと思います。委員の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。それでは、このまとめ案について、今後の流れを事務局から説明してください。お願いします。

<事務局> 令和6年度実施状況報告書については、第1回審議会において年間スケジュールでお示ししましたとおり、11月上旬に内容を確定し、市長へ報告した後、市のホームページへの掲載にて市民へ公表してまいりたいと考えております。各事業の担当部署に対しましては、当報告書をフィードバックし、来年度以降の事業に反映できるよう依頼してまいります。

議長 質問はございますか。

川端委員 ほかの項目を見ていると、男女共同参画の視点が意見まとめ案に入っていますが、17番の商業振興労政課について、担当課からの回答があったように、男女共同参画の推進を目的としていないと書いてあり、男女共同参画の視点があまり入っていません。そのため、意見に入れた方が良かったのですが、いかがでしょうか。

議長 事業自体は男女共同参画の視点から開催しているものではないけれども、男女問わず参加できて、スキルアップができることから、意見の中に、男女

共同参画の視点を持って行うべきであるという意味ですかね。

佐藤委員

例えば、スキルアップの前に、男女共同参画の推進に寄与したものかどうかという一言を入れてみてはいかがでしょうか。その後にスキルアップがきて、両方をチェックする体制づくりをしてほしいというのでいかがでしょうか。

議長

なるほど。文言を加えたら明確になるかと思います。

ほかは、いかがでしょうか。

では、事項1について、ほかになければ終了し、次の事項である「令和8年度実施予定の市民意識調査・事業所調査に関する調査票について」です。事務局の方から説明をお願いします。

<事務局>

こちらについては、前回お知らせしましたとおり、事務局において調査票案を作成し、9月12日に送付いたしました。今回と次回において、審議いただきたいと思います

まず、資料3の「市民意識調査 調査票案をご覧ください」をご覧ください。

こちらは、令和3年度作成の調査票との変更点について、削除は取消線で、追加は下線で表記しました。

その結果、文章全体が分かりづらくなってしまったものについては、変更案を一番下に記載しております。

本来、なぜ変更したのかについては、この場で一つずつ説明させていただく必要がありますが、会議時間も限られることから、変更理由を事前にお知らせした上で御審議いただきたいと考え、各ページ真ん中にある「考察」の欄に変更理由を記載いたしました。なお、なるべくシンプルに説明をと考え、文章が端的になっています点につきましては、御了承ください。

また、案の中には、質問自体を削除したものが複数ございましたので、資料3の最終ページのとおり、追加案を作成しました。こちらも含めて御審議いただきたいと思います。

なお、資料4の事業所調査につきましても、市民調査とほぼ同様の内容となっております。違いとしましては、市民意識調査は、似た項目を1ページにまとめて作成していますが、事業所調査は、変更なしの項目が多数あったことから、複数項目で1ページとなっているものもございます。その分、見づらくなっております。申し訳ございません。

また、令和3年度のアンケートを変更するに当たり、どこまで変更しようかと悩みまして、アンケートに関する本を参考しましたので、その内容については、資料5において添付いたしました。

議長

はい。では、市民意識調査から順の一つずつ見ていきたいと思います。1ページ目の「ご覧ください前に」の2の全体修正について、何かありましたらどうぞ。

議長

よろしいでしょうか。なければ、続きまして、2ページ目の頭文について、何かありましたらどうぞ。

<事務局>

依頼文書につきましては、次回御検討いただきたいと考え、今回は省略しております。

議長

はい。よろしいでしょうか。では、今後の問については、各設問について、事務局から簡単に説明を行った後に皆様の御意見を頂戴したいと思います。

まず問1について、事務局から簡単に説明をお願いします。

<事務局>

問1につきましては、男女共同参画に関する言葉を知っているかを質問しており、回答者にとって、入りやすく問1としては良いと判断しました。

また、報告書（令和3年度作成の第4次津市男女共同参画基本計画策定業務 男女共同参画に関する市民意識調査及び事業所調査調査結果報告書を指す。）から⑥⑦⑧の認知度が低いので、本来はアンケートを改めて取得し、向上させることが目的ですが、普及が見込めない言葉があれば、新しい言葉に変更するという選択肢もあるので、事務局案としましては⑧をアンコンシャス・バイアスに変更しました。また、⑩LGBTをLGBTQに変更しました。また、⑦と⑩を入れ替えました。

議長

いかがでしょうか。

小田委員

アンコンシャス・バイアスというのは、日本語で分かりやすく言うと、どのような表記になりますか。

<事務局>

無意識の思い込みです。

小田委員

それなら、それも括弧として表記した方が良いと思います。

議長

そうですね。ありがとうございます。

稲垣委員

③の年表記の数字が、半角・全角ともにありますので統一してください。

佐藤委員

質問と意見です。⑦と⑩を入れ替えた理由を教えてください。意見としては、ポジティブ・アクションは非常に重要な言葉だと思います。もし、アンコンシャス・バイアスを入れたいのであれば、意味の近い、④の固定的性別役割分担と入れ替えた方が良いと思います。

<事務局>

⑦と⑩の順を入れ替えたのは、現在の認知度等からです。ポジティブ・アクションについての取扱は事務局でも悩みました。残すという御意見を頂戴し、ありがとうございます。

佐藤委員

追加で良いでしょうか。

議長

ポジティブ・アクションを残し、アンコンシャス・バイアス加えるということで良いでしょうか。

稲垣委員

④とアンコンシャス・バイアスは、一緒のものではなく、似たものということですね。順番は簡単なものからが良いと思うので、前回のアンケート回答を元に、順番を並べた方が良いと思います。

議長

順番は変えてもらうとして、ポジティブ・アクションは私も大事な言葉だと思うので、とりあえず1つ増やして11項目にしてみましょう。

川端委員

各言葉についている注釈は、どこに記載がありますか。

<事務局>

今回の資料にはございません。依頼文書の裏面に入ります。

議長

設問の下にあった方が良いでしょうね。

小田委員 注釈の数字も、全角と半角がありますので統一してください。

<事務局> ありがとうございます。

議長 順番については、事務局において再検討してみてください。
では、問1はよろしいでしょうか。では、事務局から問2についてお願いします。

<事務局> 問2の質問の順番については、国や県で今も問われているものですので、この位置にしたいと思います。ただ、文言は他市を参考に変更しました。
ただ、個人的な感想になるかもしれませんが、県・国の調査票で、「男女の地位」と聞いています。「地位」には、若干ネガティブな意味が含まれる場合があるので、その言葉が少し気になりました。
また、⑤の慣習としきたりは、類似しているため、慣習のみとしました。選択肢の「平等になっている」は、「平等である」に変更しました。

議長 問2について、いかがでしょうか。

議長 ③の学校生活は、生活を入れますか。

<事務局> 学校に変更します。

議長 質問が、あなたの気持ちに最も近いものをお答えくださいとありますが、ほかの質問は「選んでください」なので、文末を修正してください。

<事務局> はい。

稲垣委員 複数の記載があるものについて、ほかは「・」ですが、⑥だけ「や」になっているので修正してください。

<事務局> 修正します。

議長 「地位」と入れるのはいかがですか。

稲垣委員 「男女平等になっているか」の方が良く聞きますよね。あまり、地位の平等という言い方をしませんよね。

議長 違和感を持たれそうですよね。

<事務局> そうなのですが、国や県の調査は、「地位」が記載されています。

稲垣委員 男女の何がと問われたら、地位なのでしょうね。

西川委員 取扱とかはどうですか。

稲垣委員 海外とかが、地位としているのかもしれませんがね。

議長 もう少し、ほかの調査を調べる等してみてください。

<事務局> はい。

議長 問2について、ほかにありませんか。

佐藤委員 ④の地域社会について、「自治会・町内会など」と追記すると、地域の意味が限定されてしまうと思います。ほかにもたくさんありますし、若い人にとって、自治会や町内会ではイメージが沸かないと思うので、広い「地域」について考えられる方が良いでしょう。

稲垣委員 注釈で、地域について少し入れるとかはどうでしょうか。

稲垣委員 地域や地域社会と言えば、子ども会や消防団ですかね。

佐藤委員 ほかに、お祭りや冠婚葬祭も。

<事務局> 例を挙げることでイメージが限定されるのは避けたいですが、イメージが浮かばないのも問題です。

稲垣委員 注釈の方が良いですかね。

議長 では、試しに注釈で。そのほかはよろしいですかね。
問3について、事務局お願いします。

<事務局> 問3については、報告書の自由記入欄に批判的に書かれていますが、この言葉を不快に感じることは、時代の流れとして良い結果だと思います。しかし、回答の際に回答者が不快になるのは避けたいので、他市の調査票を参考に表現を変更しました。さらなる配慮が必要であれば、選択肢の「反対」を1に持つてくることも想定できます。また、「その他」は想定できないため削除しました。

議長 はい。通常アンケートは、賛成が先ですかね。

<事務局> 一般的なアンケートは、比較的その傾向が高いと思います。

稲垣委員 固定的性別役割分担について聞いているということですよね。でも、それを書いてしまうと、答えが載ることになってしまいますかね。

議長 他市でも、表現は書かれているとおりでですね。

<事務局> 前回の調査票では、「考え方がありますが」と、その考えを肯定的に表現しているから批判されたとは感じ、表現を変えました。

稲垣委員 この質問は、津市で独自性は出すべきではなく、他市とそろえた方が良いでしょう。ほかと比較をするためにも。

議長 皆様も同じような御意見で良いでしょうか。
では、続きまして、問4について、事務局お願いします。

<事務局> 問4は、いきなり女性活躍が出てくるため、質問順は5の辺りの、男性の家庭参画と同類の、女性活躍として質問したいと思います。また、2の「時間に余裕があれば」と3の「能力があれば」を一つにまとめ、「条件が合えば」に変更しました。いかがでしょうか。

稲垣委員 「妻が」は「配偶者」にしなくて良いのでしょうか。パートナーとか。

<事務局> 「妻」は表現可能です。ただし、通常の会話の中では、自分の配偶者は妻と言いますが、人の配偶者を「妻」とは言わないという問題はあります。今回はアンケートなのでどうするかというところですが、配偶者やパートナーの方が良いのかもしれませんが。

議長 どうでしょうね。妻は、表現なので一旦置いて、「条件が」のところはいかがでしょうか。

川端委員 この括弧内はどういう意味でしょうか。男性から見たという場合ですか。

<事務局> はい。男性から見た場合です。

川端委員 それで、読んだ時にすぐに理解できないと思います。

<事務局> ありがとうございます。注釈を入れたいと思います。

佐藤委員 報告書や県の調査結果を見ると、この時間と能力の結果にかなり違いがあると思うので、合わせても良いのでしょうか？

稲垣委員 時間と知識と能力を条件としてしまうよりは、そのまま聞いた方が良い気がしますね。

議長 では、分けたままにしましょうか。
ほかはよろしいでしょうか。では問5について、事務局お願いします。

<事務局> はい。問5は、政治、経済、地域の各分野は、感じ方が大きく異なるので、本来は別々に聞くべきかと思いましたが、そうすると質問の分量が増えるので検討のみとし、言葉の修正に留めました。

議長 政治、経済、地域を分けた方が良いのかということを含めて、いかがでしょうか。

議長 1の女性がリーダーに必要な知識や経験をというところですが、「女性」は必要ですかね。

小田委員 「女性が」はいらない気がしますね。

稲垣委員 8の「夫などの家族」は「家族」でいいですね。夫も家族ですけどね。夫と家族を分けますか。

議長 夫の意見も、家族の意見もという意味で、これはこのままで良いのではないのでしょうか。それ以外はよろしいでしょうか。
では、ほかになれば、続きまして問6です。

<事務局> 単身世帯の表現を変えました。
①②をまとめて家事としました。表現については、夫、妻、平等に変更しました。

議長 いかがでしょうか。

小田委員 これは、前は男性が、女性が、となっていたということですね。

<事務局> はい。

小田委員 今は、同居世帯が少ないんですかね。うちは同居なんですが、同居世帯の場合、夫や妻だけではなく、男性、女性がするという表現ですね。

稲垣委員 その場合は、配偶者の有無が不要になりますね。この質問は、家の中で男性か女性かを聞きたいのか、妻か夫か聞きたいのか問題ですね。確かに、同居世帯だと、男性、女性になると思います。

小田委員 子どもにさせるなどもあると思います。息子にさせないけど娘にはさせるとか。

議長 そうですね、これはこのままの方が良いですね。

佐藤委員 9の日常を削除していますが、10との差別化するためには、入れないといけないかなと思います。

稲垣委員 これ、問26までボリュームがありますね。

<事務局> はい。事務局としましても、5年前の調査票を案としてどこまでを変えるかは悩ましいところでした。基本的には大きく変えるべきではないと思いますが、5年に一度なので、変えるべきところは変えなければと思いました。特に悩んだのが、時代が変わって、不自然になった質問をどうしようかという点です。

稲垣委員 ただ、本当に聞きたいところはどこか、きちんと絞るべきかと思います。本当に聞きたいことは前に持ってこない、後半に回答が嫌になると思うので。

<事務局> はい。注意します。

議長 問6について、ほかはいかがでしょう。とりあえず、進めていきます。

議長 問7はすべて削除ですか。

<事務局> 子育ての項目は重要ですが、内容が男女共同参画からは離れているかと思い、削除しました。

議長 施策としてはありますが、市民に聞くのは、負担に感じるというところですし、違和感がある可能性はありますか。

議長 問7は削除はよろしいですか。次の問8も削除ですか。

<事務局> はい。こちら時代の変化があり、介護に関する問題は現在もありますが、5年前に比べ「女性だけが介護をする」ことが当たり前という視点からは、変化しているのではないかと感じ、削除しました。

議長 こちら削除でよろしいでしょうか。

議長 では問9について事務局の説明をお願いします。

<事務局> 地域活動への参加も重要ですが、男女共同参画からは離れるのであれば削除かと考えました。もし、削除ではなく、質問を変えるとすると、変更案のとおりです。

議長 問9・10が削除という案ですね。違う質問の検討というのがありますが。

稲垣委員 この先も見ながらですが、この削除の3問ですが、「あなたの家庭ではどうですか」「あなたはどう思いますか」という聞き方をすれば、網羅できるのかなとは思いますが。自分の家ではこうだけど、全体としてはこう思っていますなど。ただし、私は減らしても良いと思えますが。

議長 聞きたいけれど、全体のボリュームからすると減らす方がというわけですね。

議長 では、次に進んでよろしいでしょうか。問11についてお願いします。

<事務局> はい。こちらは、選択肢2は現在では違和感があるので削除しました。また、回答を1つにしてもらいたいのかかと思ひ、質問の仕方を変更しました。

稲垣委員 選択肢が独特ですね。

議長 複数回答から1つに絞るという案ですね。

稲垣委員 例えば、周囲から冷たい目で見られるという質問については、以前ならすることで冷たい目、今はしなければ冷たい目というふうに、現在では引かれる選択肢ですね。しかも、1つしか選べないとすると難しいと思えます。

<事務局> 他市で似たような別の質問があるかを調べてみます。

議長 では、そのように。では次の問12をお願いします。

<事務局> こちらにつきましては、男性の家庭生活等への参画について、5年前よりは、少しずつではあるものの改善がみられ、質問に違和感を持たれる可能性があるため、質問の前に情報提供を追加しました。また、選択を1つにしました。また、他市を参考に、選択肢を追記しました。

議長 はい。いかがでしょうか。

議長 選択肢が多いので、一つを選ぶのは厳しいですね。

<事務局> 選択肢の追加は、こういうものもありますという意味で記載しましたので、これはいらぬというものもあると思えます。

議長 まず追加について、不要のものはありますか。

小田委員 下から3つ目の追加については、女性は評価が高いけれど、男性は変わる

ということですか。

<事務局> 男性の場合は、評価が下がらないように、という意味です。

小田委員 これについては、選択肢の「周囲の理解」が得られていれば、いらなかなと思います。

議長 そうですね。

議長 男性が家事などを行うための仲間づくり、ネットワークづくりというのは、孤独ということでしょうか。女性の場合にあるのかという問題がありますね。

議長 1つを選択してもらうなら、選択肢は減らさないと思います。その他、追加や削除はありますか。

川端委員 複数回答可としたことにより、前の調査において、何かの政策に対して反映ができなかったということですか。

<事務局> そうではなく、アンケートに関する本を読むと、例えば3つ選んでくださいと問われた場合、本人の意見が1つであった場合、残り2つは適当に選んでしまう等の問題があるので、安易に複数回答を求めるのは極力避けた方がよいという記載があったためです。

川端委員 選択肢の中で、答えが3つあればぼやけることがあると思いますが、3つ得られたことで、順位が分かれ、明確になる場合もあると思うんですね。1つにする場合は、選択肢が5個くらいで簡潔にしないと厳しいと思います。ただ、5年に一度であることから、できるだけ情報を得るのも大切だと思います。

議長 そうですね。一つにしすぎるのは良くないと思いますので、再度検討をお願いいたします。
皆様、御意見ありがとうございます。今日はここまでにしたいと思います。

議長 続きまして、3「その他」であります。全体を通じて御意見等ございましたら、どうぞ。

川端委員 調査票については、郵送等についてどのようになりますか。

<事務局> 来年度の9月以降に調査を実施予定です。返信用封筒とともに郵送し、回答は、インターネットか紙かで依頼する予定です。

川端委員 先般の国勢調査において、二次元コードが便利でしたので、ぜひインターネットを活用していただきたいと思います。

議長 ほかはいかがでしょうか。なければ、事務局お願いします。

<事務局> 次回の審議会の日程であります。10月29日（水）午後1時30分からの開催となります。場所は津リージョンプラザ2階となります。よろしくをお願いいたします。

また、つばさ39号を席に置かせていただきました。稲垣委員には編集委

員として御協力いただき、インタビューについては、西川委員に御協力いただいたものです。御一読お願いいたします。

議長

以上で本日の議事は終了しました。議事進行の御協力ありがとうございました。

これをもちまして、令和7年度第3回津市男女共同参画審議会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。